

2025 年9月幹事会 企画幹事資料

1. 2026年度 1月例会の準備状況

開催日:2026 年 1 月 30 日（金）
場所:東京ガーデンパレス（東京）現地開催
特別講演: 一般講演の内容と関連した先生を選定予定。

講演	演題・所属・氏名	備考	
一般公演	1) 13:30～14:15	済	演題
	「創薬研究におけるプロテオミクスの活用事例」（仮）	済	演者
	興和株式会社 東 秀行 先生	未	ご略歴
		不要	依頼書
	2) 14:15～15:00	済	演題
	「持続性・経眼瞼アレルギー性結膜炎治療剤 エピナスチン	未	演者
	塩酸塩眼瞼クリームの薬物動態」（仮）	未	ご略歴
	参天製薬株式会社 TBD 先生	不要	依頼書
特別講演	15:15～16:15	済	演題
	「プロテオミクスを用いた中枢関門薬物動態研究」（仮）	済	演者
	広島大 内田 康夫先生	未	ご略歴
		済	依頼書
司会	サターラ合同会社		

2. 新幹事の内諾状況について（2026年～2027年）

所属	11 月幹事会	名前	担当幹事
医療法人社団慶幸会 ピーワンクリニック	参加	蚊爪 一成	企画
	参加	萩 敏旭	
オリエンタル酵母工業 株式会社	不参加	丸谷 小百合	庶務
	参加	山中 直樹	
	参加	平野 桜	
わかもと製薬株式会社	参加	高嶋 光代	会計
	参加	秋元 匠太	
株式会社サイフューズ	参加	前川 敏彦	セミナー
	参加	相馬 勤	
	参加	井上 愛優	

3. 2025 年度 第 48 回年会の準備状況

開催日:2024 年 11 月 20 日（木）～21 日（金）

場所:オークラアクトシティホテル浜松

事務局・担当幹事: 岩佐・松田（MSD）、小森・永易常任幹事

① 6月幹事会での検討事項：

会長挨拶時に幹事紹介を実施するため 10 分とし、企業展示紹介を 5 社各2 分で仮置きする。その後の休憩はバッファーとして現状のままとしておく。

1日目（11/20 木）： 司会 MSD株式会社		
開会挨拶	14:00～14:05	
会長挨拶	14:05～14:15	10 minに変更
Showcase（シンポジウム1）	14:15～14:35（5 min×4）	前田先生は業務の都合上、間に合わないため、スキップ
企業展示紹介	14:35～14:50（2 min×5）	企業展示企業数が未確定のため 15分確保しておく
休憩	14:50～15:05	
シンポジウム1	15:05～18:30	
基調講演	15:05～15:55	
一般講演×2	15:55～17:05	
休憩	17:05～17:20	
一般講演×2	17:20～18:30	
意見交換会	19:00～21:00	

2日目（11/21 金）： 司会 サターラ合同会社		
会長講演	9:20～10:00	
特別講演	10:00～11:00	
休憩	11:00～11:20	
Showcase（シンポジウム2）	11:20～11:45（5 min×5）	
シンポジウム2	11:45～16:20	
基調講演	11:45～12:35	
昼食	12:35～13:35	
一般講演×2	13:35～14:45	
休憩	14:45～15:10	
一般講演×2	15:10～16:20	
事務連絡	16:20～16:30	

② 年会全体テーマ、年会ポスター及びプログラム（参考資料1及び2）

全体テーマ案：

「薬物動態の未来を拓く：PBBM×TPD：薬物動態研究から臨床への橋渡し」

その他候補：

「医薬品開発における先端モデリング評価と新規治療アプローチの最前線」

「予測と分解で切り拓く薬物動態の未来－モデリングから臨床応用へ」

「PBBM × TPD：薬物動態研究の新たな地平と臨床へのトランスレーション」

「PBBMとTPD－統合モデリングから創薬応用・安全性評価、そして臨床へ」

（参考）

シンポジウム1：

生理学に基づく生物薬剤モデリング（PBBM）の未来～その利活用と薬物動態研究の貢献～

シンポジウム2：

標的タンパク質分解誘導の創薬応用と開発における留意点

③ 企業展示の内諾状況

去年の反省点を踏まえ、9月上旬より昨年より早めに内諾のための案内を行っている。

＊「富士フィルム」より「富士フィルム和光純薬」の出展の意向の連絡を受けているが、「富士フィルム和光純薬」は会員ではないため、昨年同様「富士フィルム」としてであれば前例にしたがい出展可として対応することで良いかご審議いただきたい。

＊＊ コニカミノルタより問い合わせあり。出展希望の場合、会員企業を優先するが、設置スペースに空きがあれば、受入れることで良いかご審議いただきたい。

（正式な案内はプログラム確定後：10/6の週の早い時期）

企業	展示タイプ	
フェニックスバイオ	B	出展表明
ライカマイクロシステムズ	検討中	出展表明
富士フィルム和光純薬＊	A	出展表明
ピーワンクリニック	B	出展表明
サターラ合同会社	B	出展調整
コニカミノルタ＊＊	検討中	問い合わせあり（非会員）

展示ブース A（バックパネルあり）：55,000 円、展示ブース B（バックパネルなし）：26,400 円

（参考）年会規則

（2）出展資格

- ① 談話会と年会の趣旨をご理解いただける関連の機器・製品・書籍などを製造または取り扱う企業・団体で、談話会の会員、または幹事会で了承を受けた非会員であること。

④ 意見交換会

本年は意見交換会での Show case と企業展示紹介を実施しないため、スライド映写はなしの予定。マイクは使用可能。

意見交換会のプログラムについて、ご審議いただきたい。

<意見交換会プログラム案>

薬物動態談話会第 48 年会

意見交換会 Agenda

- 19:00～19:10 開会の挨拶（城西国際大学 杉山先生又は東北大学 山添先生）
- 19:10～19:15 乾杯（城西国際大学 杉山先生又は東北大学 山添先生）
- 19:15～19:50 歓談
- 19:55～20:25 スピーチ（5分/人）
 - 玉井会長
 - 常任幹事代表（企画常任幹事：永易さん）
 - シンポ1 演者・座長代表（北里大学 前田先生）
 - 特別・功労会員（TBD・参加リストより後日選出予定）
 - シンポ2 演者・座長代表（愛媛大学 澤崎先生）
 - 弊社 Tycho（本人の了承が得られれば）
- 20:55～21:00 閉会の挨拶（企画常任幹事：小森さん）

⑤ 年会要旨（来年度）

本年度より年会要旨にキースライドを掲載しないこととなったため、来年度から年会要旨に顔写真を統一して掲載すること検討していく。

4. 今後の予定

- 10/3 年会プログラム・ポスター最終化（幹事会にて）
10/6 の週 年会案内・参加募集

以上

参考資料1 (年会プログラム)



薬物動態談話会 第48年会

薬物動態の未来を拓く：PBBMとTPDによる
薬物動態研究から臨床への橋渡し

1日目：2025年11月20日（木）14:00～21:00

14:00～14:05 開会挨拶
14:05～14:15 会長挨拶

薬物動態談話会会長 金沢大学 玉井 郁巳

14:15～14:35 Showcase（シンポジウム1）
14:35～14:50 企業展示紹介
14:50～15:05 休憩

シンポジウム1：生理学に基づく生物薬剤モデリング（PBBM）の未来
～その利活用と薬物動態研究の貢献～

座長：外川 秀幸（中外製薬株式会社）
平林 英樹（株式会社ティー・エヌ・テクノス）

15:05～15:55 [基調講演] Physiologically Based Biopharmaceutics Modelingの現状と課題
東京理科大学 上林 敦

15:55～16:30 ヒト小腸検体由来分化小腸上皮細胞を用いたヒトにおける消化管吸収特性の予測
と課題
北里大学 前田 和哉

16:30～17:05 難溶性薬物（アレセンサ®）における in vitro-ヒト相関と製剤設計のケーススタ
ディ
中外製薬株式会社 富松 敬

17:05～17:20 休憩
座長：上林 敦（東京理科大学）
前田 和哉（北里大学）

17:20～17:55 Physiologically Based Biopharmaceutics Modeling in Drug Development
MSD株式会社 Tycho Heimbach

17:55～18:30 PBBM の現状について：審査当局の視点から
医薬品医療機器総合機構 宇都野 侑史

18:30～19:00 事務連絡、意見交換会会場への移動

19:00～21:00 意見交換会
(会場：3F チェルシー)

1日目司会進行：岩佐 隆史、松田 和樹（企画幹事；MSD株式会社）

会長講演

2日目：2025年11月21日（金）9:20～16:30

座長：永易 美穂（中外製薬株式会社）
小森 高文（エーザイ製薬株式会社）

9:20～10:00 植物性食品の多彩な消化管トランスポーター調節機構
金沢大学 玉井 郁巳

特別講演

座長：井上 貴雄（国立医薬品食品衛生研究所）

10:00～11:00 無細胞系と近接ビオチン化を基盤とした標的タンパク質分解誘導薬評価法
愛媛大学 澤崎 達也

11:00～11:20 休憩

11:20～11:45 Showcase（シンポジウム2）

シンポジウム2：標的タンパク質分解誘導の創薬応用と開発における留意点

座長：今岡 尚子（第一三共株式会社）

11:45～12:35 [基調講演] タンパク質分解医薬の臨床開発動向と安全性評価

国立医薬品食品衛生研究所 井上 貴雄

12:35～13:35 昼食

座長：澤崎 達也（愛媛大学）

13:35～14:10 ヒトプロテインアレイを用いた標的タンパク質分解誘導薬のオフターゲット探索技術

株式会社セルフリースサイエンス 森下 了

14:10～14:45 標的タンパク質分解薬の創薬化学研究

東北大学 石川 稔

14:45～15:10 休憩

座長：大石 昌代（アステラス製薬株式会社）

15:10～15:45 標的タンパク質分解誘導薬の非臨床安全性評価における留意点

第一三共株式会社 今岡 尚子


15:45～16:20 標的タンパク質分解誘導薬；創薬への動態研究者の貢献

アステラス製薬株式会社 大崎 史雄

16:20～16:30 事務連絡

2日目司会進行：千村 淳、藤田 理子（企画副幹事；サターラ合同会社）

参考資料2 (ポスター)



薬物動態談話会・第48年会

2025年11月20日(木)～21日(金)

薬物動態の未来を拓く：PBBMとTPDによる薬物動態研究から臨床への橋渡し

特別講演・無細胞系と近接ジオチン化を基盤とした標的タンパク質分解誘導薬評価法
愛媛大学・澤崎 達也

会長講演・植物性食品の多彩な消化管トランスポーター調節機構
金沢大学・玉井・郁巳

シンポジウム1：生理学に基づく生物薬剤モデリング (PBBM) の未来
～その利活用と薬物動態研究の貢献～

基調講演・Physiologically-Based-Biopharmaceutics-Modelingの現状と課題
東京理科大学・上林 敦

一般講演・ヒト小腸検体由来分化小腸上皮細胞を用いたヒトにおける消化管吸収特性の予測と課題
北里大学・前田 和哉

一般講演・難溶解性薬物 (アレセンサ®) における・in-vitro-ヒト相関と製剤設計のケーススタディ
中外製薬株式会社・富松 敬

一般講演・Physiologically-Based-Biopharmaceutics-Modeling-in-Drug-Development
MSD株式会社・Tycho-Heimbach

一般講演・PBBMの現状について：審査当局の視点から
医薬品医療機器総合機構・宇都野・侑史

シンポジウム2：標的タンパク質分解誘導の創薬応用と開発における留意点

基調講演・タンパク質分解医薬の臨床開発動向と安全性評価
国立医薬品食品衛生研究所・井上 貴雄

一般講演・ヒトプロテインアレイを用いた標的タンパク質分解誘導薬のオフターゲット探索技術
株式会社セルフサイエンス・森下 了

一般講演・標的タンパク質分解薬の創薬化学研究
東北大学・石川 稔

一般講演・標的タンパク質分解誘導薬の非臨床安全性評価における留意点
第一三共株式会社・今岡 尚子

一般講演・標的タンパク質分解誘導薬；創薬への動態研究者の貢献
アステラス製薬株式会社・大崎 史雄

意見交換会(11月20日)

参加費：・35,000円(宿泊費込、会員会社限定) 可
初日のみ参加(12,000円)，2日目のみ参加(13,000円)も可

会場：・オークラアクティビティホテル浜松
JR浜松駅メイワン改札口東口より徒歩3分(Tel.・053-459-0111)

薬物動態談話会HP、会員専用サイトで受付予定：
<http://danwakai.jp/>・年間予定より

連絡先：薬物動態談話会・企画幹事(MSD株式会社)
(takashi.iwasa@msd.com; kazuki.matsuda@msd.com)

